

NRU-east

National Railway Workers' Union

No.859 2024年
1月1日

国鉄労働組合東日本本部
港区新橋5-15-5 交通ビル7F
発行責任者 伊藤 隆夫
編集責任者 常盤 達雄

国労で
一緒に築こう
明るい職場



(写真提供) 立川運転区分会・大門 誠さん

**不平・不満の声を受け止め、
労働組合の必要性を訴えよう!**

執行委員長

伊藤 隆夫



組合員・家族の皆さま、新年あけましておめでとうございます。

今年も国内外ともに何かと暗いニュースの中で新年を迎えました。ロシアによるウクライナへの軍事侵攻は長期化し、中東においてパレスチナ自治区のガザを実効支配するイスラム組織ハマスがイスラエルを越境攻撃し、これに対しガザに対するイスラエルの苛烈な報復が始まるなど、市民を犠牲にした「戦争」＝「大量殺戮」が繰り返されています。(この原稿が皆さんの目に触れるころには停戦されていることを願いつつ)

国内でも、昨年の通常国会で岸田政権は、軍事費増額に向けた「法」や軍事産業を支援し、軍需工場の国有化すら可能にする「法」を成立。一昨年末の他国領域を攻撃できる敵基地攻撃能力(反撃能力)と防衛力強化のための3文書改訂に続く法整備により「戦争する国づくり」を着々と進めています。

一方、相次ぐ閣僚の不祥事や物価高騰対策の遅れ、さらには自民党派閥の政治資金パーティー問題が発覚、岸田政権の支持率は内閣発足以降、最低水準に落ち政治不信に拍車をかけています。

JR東日本はコロナ禍以降、22年度を「復活の年」23年度を「モードチェンジ」の年と位置付けて経営体質の強化、「聖域なきコスト削減」を進めてきました。

利用者に直接的に関係する問題としては、一部の駅では時刻表や時計、ごみ箱の撤去・集約化、チケットレス化の推進とみどりの窓口の縮小など、公共交通としてのサービスの「質」が問われています。

また、「融合と連携」をキーワードに進められる職場の「センター化」や業務委託の深度化により、そのしわ寄せはグループ会社含めた労働者への過度な負担となりのしかかっています。

こうした中、昨年10月末発表の23年度中間決算はコロナ禍からの反動で順調に経営を回復し増収増益を達成し、先ごろ「7月から9月の訪日外国人が過去最高」と発表されたように円安を追い風としてインバウンドをはじめとした運輸事業は今後も回復傾向に推移すると思われれます。

まもなく24春闘を迎えます。昨年は賃金改定が行われたものの歴史的な物価高騰に私たちの賃金が追い付いていないのが現実です。昨年11月には政労使会議も開催され「ことし以上の賃上げ水準」が話し合われたと報じられています。この動きと連動し、中小企業の賃上げ後押し策として「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」が公正取引委員会より策定され、発注側にも厳しい目が向けられるなど、今年の賃上げは社会的な責務といえます。

国労の基本要請は1月27日に開催される中央委員会決定、その後東日本委員会にてJR東日本及びグループ会社に対する要求確立となります。物価上昇による生活維持・改善と社員へのモチベーション向上の観点から検討に入ります。

その支えとなるのは組合員、社員の「声」です。ご承知の通り、JR東日本における労働組合加入率は依然として低い水準にとどまっています。労働組合の任務は「職場の耳であり、口でもある」と言われますが、その重要性は益々高まっています。不安・不満を受け止める最初の窓口となり、労働組合の必要性を訴える中から今春闘を取り組みましょう。

東日本本部は昨年の大会にて現状に鑑みて、「今後の国労東日本本部『組織の在り方』と規約改正(案)について」を提案しました。主眼は、次世代の皆さんに過度な負担をかけない機関運営と、JR世代の横の連携、そして、自らが所属する会社と向き合うための戦線整備です。現在の9地方本部体制を2地方本部体制への集約化に向け、詳細については今も議論を進めているところであり、成案が整い次第お知らせしたいと思います。各地方・支部役員を担っていただいている皆さんにはご負担をおかけしますが、ご理解をいただきます。結びに、組合員・家族の皆さまのご健勝とご多幸を祈念し挨拶に代えます。

JR世代組合員学習交流会開催!

次世代を引き継ぐ組合員が結集し、学習・交流

国労東日本本部は、12月2日に南部労政会館（東京・大崎）において、「JR世代組合員学習交流会」を開催しました。

東日本管内からJR発足後に国労加入した若手組合員（JR東日本・JR貨物・JESS）が結集し、学習・交流を深めるとともに、今後の組織運営や将来の組織の在り方についても意見が交わされました。

主催者あいさつで彦田副委員長は「一人2役3役をやらされる中からの不平不満が職場にある。困っている人の声を聞き、集めるのも運動。それを集めて運動を続けよう。改善を求め続けよう」などの訴えを行いました。学習会では、武田書記長から「労働組合の役割と必要性」について講演があり、労働組合に関係する法律、労働基準法の歴史や内容、労働協約、労働条件を引き上げるための取り組みなどが話されました。

その後、彦田副委員長から組織強化・拡大に向



けた問題提起がされ、分散会では離職者が止まらない状況をはじめとした職場の問題や、組織拡大について交流をおこない、それを元に仲間を増やすために考えあつてほしいと訴えがされました。

なお、東北地区では、11月23日に盛岡国労会館において、東北3地本の東北協議会総会に併せて開催しています。

組合員どうしの繋がりがから
働きやすい職場
新たな仲間をつくらう
そこから運動の継承・発展へ

● 自分でも未加入者でも考えていることは同じ。人が足りず休日出勤。その上に業研や委員会を自分で応募し、イベントを引き受ける。超勤にはなるが、明けてパソコンをいじっている人が多い。評価につながるのでやらざるをえない。

● 業務量が多く、休みが取りづらい。本来業務でいっぱいいっぱい。昼休みもパソコンをいじっている。狭い休憩スペースがなく、休憩した気になれない。

● 機関区の事務担当も当然昼の休憩時間がある。用がある時も私はこの時間を避けて行くが、かまわずに行く社員も多い。事務担当は受けてくれるが、超勤扱いにしている。お互いの労働条件を考えるべき。

● 職場の委員会に自分だけ誘われない。各社員は勝手に振り分けられている。そのため、私だけ評価にならない。理由を聞くと



● エルダールの組合員は、辞めることしか考えていない人が多い。それでも、頼りになる人も若干いる。

● 一人で複数駅を担当している。

● 指令のJR社員は大・中駅出身者が多く、一人職場を理解してくれない。会社は列車を遅らせてもいいと言うが、指令にはせつつかれる。

● 本体社員がJESSの状況を理解していない。

● 若手社員と話すとき、いやなら会社を辞めれば良いという発想の社員が多い。

● 職場をどう改善するかという発想にならない。

● 貨物の新人事賃金制度では、不公平感がある。さまざまイベントで増収している社員に還元すべき。廃車解体などの業務知識がある自分が頼られるが、特殊な作業をさせるなら手当を出すべき。

● JESSの初任給は高いが定昇は低い。結婚などの人生設計に大きな影響が出る。

● 多くの職場が1徹1日勤体制で、2人体制を見直したぶん、皆さんの賃金に充てていると言う。一人体制では技術継承ができない。不安と失望感で離職を選択。

● R駅は構内があり、業務知識が多岐に渡って必要。しかし、本来業務以外の作業が多く、業務知識を高めるのが難しい。若手は、言われたことだけやって、自ら業務知識を高めようとしていない。

● ヒューマンエラーも多発しているが、社員の声に耳を傾けない状況では、モチベーションが上がらない。車両の蛍光灯切れを見つけても、対応できずにそのまま出庫。会社は運休しなれば良いという感覚。

● 一部の仕事を女性社員にさせない逆差別もある。

● 貨物会社では、新制度でこれまでの手当の一部が廃止に。会社は他の手当に統合したというが、減収となった若手を中心に不満の声。

● 君は余計なことを言うから。会社の求める人間になろうとしていないから（主任）と言われる。JESSでは主任にならないと、私の場合は2年後に定昇が半分になる。主任職試験に行くのに、運賃がかかるが、2000円を超えた部分しか支給されない。普通の企業は、社内試験は勤務時間内がふつう。

● 人が足りない。プロパー3人が退職した。JESS S川崎管区全体では何と足りているが、以前はバワハラ課長がいたが、飛ばされた。会社は設立10年と新しいが、国鉄世代の人がエルダールの助役で多く来ているためか体質が古い。

分散会から
職場の状況
職場の不满

せられ、賃金に見合わない。それが退職者の増加に繋がっている。実践的な研修が少ない。そもそも研修の先生の経験が少ない。

● 新入社員に気を遣う。特に女性社員は、誘われるのもイヤという人もいる。



話す場を意図的に作ろう

最初は軽い気持ちでいい

興味を持たれる新聞を

組合が必要という意識を持ってもらうには？



- 職場で飲み会を定期的に開催して、職場での問題を聞いてみる。その中でダイジェスト版を配り、国労の取り組みを紹介している。
- 国労に入ったとたん、管理者が気を遣ってくるようになった。
- 職場で飲み会を定期的に開催して、職場での問題を聞いてみる。その中でダイジェスト版を配り、国労の取り組みを紹介している。

組織拡大を
意識しよう

これからのために
何を
して
い
こう



- 国労に入っていることでも守られていることもあると思う。
- 国労に入ったとたん、管理者が気を遣ってくるようになった。
- 職場で飲み会を定期的に開催して、職場での問題を聞いてみる。その中でダイジェスト版を配り、国労の取り組みを紹介している。
- 最初は軽い気持ちで、という雰囲気が必要だと思ふ。
- 未加入の労働者に、労働組合が必要なんだという気持ちを持ってもらい、国労に限定せず「労働組合」を選択してもらうという気持ちも大切ではないか。
- 以前は、ポケットティッシュに加入届を入れて配っていたが、今はパワハラ相談に変えて配っている。
- 1 徹1日勤などでは話がしづらい。きっかけを待っていてはダメで、話す場を意図的に作らないといけない。
- これまでに9名を加入させたが、うち5名がやめた。加入させたことで、負担を増やしてしまったという思いになった。そ

の後、会社は若手社員と接点を持たせないようにしている。

- 実際に差別されることはある。組織拡大自体、今でいいのと感じることもある。国労を脱退しないと昇給できないと感じる組合員もいる。抜きたい人もいるかもしれないが、個人で身を守る力をつけてもらいたい。
- 自分の職場の管理者は、ハラスメントを行う雰囲気はないが、異動でいなくなればどうなるか。組合として力を蓄え、保ち続けなければ。
- そもそも、転勤してきてから、自分がどの分会に所属し、役員がだれかわからない。新聞、ダイジェスト版、業務連絡報、イベント情報など来ない。
- そこから改善していかないと。

東北地区 JR世代 交流会

東北地区では、11月23日に盛岡国労会館で交流会が行われました。

仙台・秋田・盛岡各地本のJR世代組合員が集まり、職場交流や今後の組織運営について意見が交わされました。



- ホームページなどを通じて、情報をプッシュしていくことが重要。
- 女性の権利の休暇が取れない状況になっている。
- 3年以内で退職してしまおう若手が多く、こちらもちベリションが持てない。
- 若手社員は、労働組合って何？となっている。
- 組合掲示板が更新されていないと、見なくなる。
- 年休を取ってでも組合行事に参加しないといけないの？と思われることが多い。
- 組合活動はプライベートの予定が無くなるなど、マイナスイメージがある。
- 組合事務所が集まれる環境を作ったほうがいい。
- 職場の雰囲気づくりのため、職場の中心になることが必要。
- 未加入になって、組合費を払わなくてよくなったという意見はある。
- 労働組合が要求しないと、賃金は改善しない。

あけまして
おめでとございませ
本年もよろしく
お願い致します

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------|-----------------|--------------|--------------|---------------|---------------|---------------|------------------|-------------------|-------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------|-----------------------------|----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 東日本本部
執行委員長
伊藤 隆夫 | 執行副委員長
渡辺 信之 | 書記長
彦田 貴弘 | 書記長
武田 幸喜 | 調査部長
常盤 達雄 | 調査部長
中谷 慎一 | 業務部長
和賀 聖司 | 特執(貨物担当)
中村 誠 | 特執(貨物担当)
丸谷 豊美 | 特執(貨物担当)
(JESS担当)
竹内 康裕 | 特執(貨物担当)
(青対担当)
木村 洋希 | 特執(貨物担当)
(青対担当)
小菅 隆寛 | 特執(貨物担当)
(青対担当)
飯田 智士 | 特執(貨物担当)
(青対担当)
白井 明男 | 特執(貨物担当)
(青対担当)
中村賢太郎 | 特執(貨物担当)
(青対担当)
塩澤 富世 | 特執(貨物担当)
(青対担当)
矢部 雄一 | 特執(貨物担当)
(青対担当)
飯島 英樹 | 特執(貨物担当)
(青対担当)
小磯 潤一 | 特執(貨物担当)
(青対担当)
香澤 萌加 | 特執(貨物担当)
(青対担当)
儀藤 政義 | 特執(貨物担当)
(青対担当)
坪井 昭光 | 特執(貨物担当)
(青対担当)
森岡 英夫 | 特執(貨物担当)
(青対担当)
中村 誠 | 特執(貨物担当)
(青対担当)
森岡 英夫 | 特執(貨物担当)
(青対担当)
中村 誠 | 特執(貨物担当)
(青対担当)
石戸谷 満 | 特執(貨物担当)
(青対担当)
木元 敏彰 | 特執(貨物担当)
(青対担当)
丸山 淳一 | 特執(貨物担当)
(青対担当)
兜森 秀昭 | 特執(貨物担当)
(青対担当)
三留 英一 | 特執(貨物担当)
(青対担当)
佐藤 浩 | 特執(貨物担当)
(青対担当)
岡野 嘉明 | 特執(貨物担当)
(青対担当)
保科 誠司 | 特執(貨物担当)
(青対担当)
出羽 正則 | 特執(貨物担当)
(青対担当)
清水 秀里 | 特執(貨物担当)
(青対担当)
後藤 寿昭 | 特執(貨物担当)
(青対担当)
加藤 英樹 |
|-------------------------|-----------------|--------------|--------------|---------------|---------------|---------------|------------------|-------------------|-------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------|-----------------------------|----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|

